

BIPROGYグループの温室効果ガス排出削減目標が Science Based Targets の「1.5°C目標」の認定を取得

BIPROGYグループは、2030年までの温室効果ガス排出削減目標を策定し、これらの目標がパリ協定における「1.5°C目標」を達成するための科学的根拠に基づいた目標と認められ、Science Based Targets^{注1}の認定を取得しました。



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

今回認定を取得した BIPROGY グループの温室効果ガス削減目標（SBT 認定目標）は、以下の通りです。

Scope1 ^{注2} と Scope2 ^{注3}	2030年度までに温室効果ガス排出量を2021年度比で45%削減する（1.5°C目標）
Scope3 ^{注4}	2027年度までに購入製品・サービスの調達金額の40%を占めるサプライヤーが SBT 相当の目標を設定する
	2030年度までに販売製品の使用段階での温室効果ガス排出量を2021年度比で25%削減する

BIPROGYグループは、環境・社会および当社グループのサステナビリティを追求し、Purposeで掲げた「先見性と洞察力でテクノロジーの持つ可能性を引き出し、持続可能な社会を創出します」を実現するため、マテリアリティを定めています。

5つのマテリアリティのうち、「ゼロエミッション社会の実現に向けた、デジタルを活用した環境貢献と事業活動にともなう環境負荷の低減」と「バリューチェーン全体で取り組む、安心・安全な製品・サービスの持続可能な調達と提供」の2つのマテリアリティを推進すべく、温室効果ガス排出量（Scope1,2,3 排出量）の削減目標を設定し、Science Based Targets の認定を取得しました。

今回認定された目標を達成するために、サプライチェーン全体の温室効果ガス排出削減の取り組みを進めていきます。

以上

※注 1 : Science Based Targets

パリ協定に準拠した科学的根拠に基づいた企業の温室効果ガス排出削減目標
<https://sciencebasedtargets.org/>

※注 2 : Scope1

燃料の燃焼など、事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

※注 3 : Scope2

他社から供給された電気、熱、蒸気の使用に伴う間接排出

※注 4 : Scope3

Scope1、Scope2 以外の間接排出（事業者の活動に関連するサプライチェーンでの排出）

■ 関連リンク

- ・ BIPROGY グループのサステナビリティ
<https://www.biprogy.com/sustainability/>
- ・ BIPROGY グループのマテリアリティ
<https://biprogy.disclosure.site/ja/themes/95>
- ・ BIPROGY グループ Vision2030・経営方針(2024-2026)
https://www.biprogy.com/com/management_policy.html

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<報道関係お問い合わせ窓口>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/

Vision2030

わたしたちは、デジタルコモンズを
誰もが幸せに暮らせる社会づくりを推進するしくみに育てていきます

私たちは志や共感をベースに持続可能な社会の実現を可能にするために、
さまざまなサービスやノウハウをデジタルの力でつなぎ合わせ、
社会の共有財であるデジタルコモンズとして創造し、提供していきたいと考えています。
その実現に向けて、ビジネスエコシステムのパートナーと共に
多様な業界、業種、マーケットの視点から社会に貢献することにより、新たな価値やマーケットの創出につなげていきます。